

# ケラ

## 特徴と生態

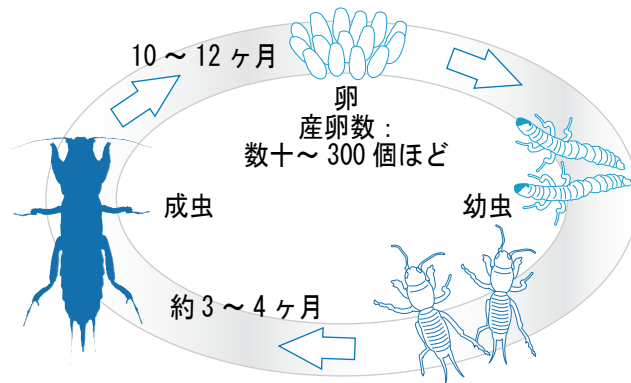


- 成虫体長…30～35 mm  
体色…茶褐色
- 全体的に茶褐色で、金色の短い毛が密集しています。太く頑丈でモグラの前足のように発達した前肢を有し、前翅は短く、長すぎない後肢で、土を掘り進む作業に適した体型をしています。湿った土中にトンネルを掘り、「ボー」と低く続けて鳴きます。  
雌は5～7月頃に産卵し、数10～300個程度の卵を産みます。母虫は孵化するまでつききりで保育にあたり、餌を運び込んだりします。孵化した幼虫は集団で棲み、9～10月に羽化して成虫で越冬します。本種は雑食性で、後翅は長くよく飛び、灯火に飛来することがあります。

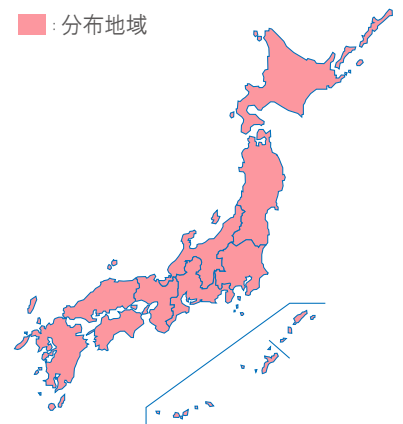
## 分布と発生場所

- 全国に分布します。  
河原や草原、田畑の土中に巣穴を掘って地中生活をします。また、乾燥した硬い土よりも、水分を含んだ柔らかい土壌を好みます。石や敷き藁の下に潜んでいることもあります。

### ○ サイクル図



### ○ 分布図



### ○ 発生時期



## 被害

- 農作物の根などの地下部分を食害します。  
地中に孔道を作ることによって土壌を攪拌し、通気性や通水性を高める作用もありますが、害虫としての作用が大きいと考えられています。

## 駆除

- 主に土中に生息するため見つけにくいですが、敷き藁などケラの隠れ処となるものを除去し、成虫・幼虫ともに発見したら速やかに取り除きます。また、土壌に卵を産み付けている可能性もあり、土壌害虫用の粒剤や乳剤を作物の周囲に散布しておく効果的です。